

公益財団法人京都市芸術文化協会

令和5年度 事業計画

令和5年度は、文化庁及び京都市立芸術大学の移転を契機に京都が文化芸術で更に飛躍するための重要な年となります。

当協会では、令和3年度に策定した「中期ビジョン」の実現に向けて、「交流の場づくり」、「学びの機会づくり」、「文化芸術の支援」、「調査・研究」の4つの活動の柱に基づき、また令和5年度以降の京都芸術センター指定管理者に選定されたことを受け、引き続き、脆弱な務基盤の強化に取り組むとともに、京都市の芸術文化の発展に寄与できるよう「自主事業」「受託・共同主催事業」「京都芸術センター運営事業」を役員、会員、職員が力を集めて実施します。

なお、芸術センターを訪れた市民が文化芸術に触れる機会を創出するため、イベントや展覧会の充実、子どもから高齢者まで楽しみやすい事業の企画などを通じて来館者を増やし、市民に開かれた施設として、芸術センター及び当協会の認知度向上にも取り組みます。

I 自主事業

1 芸術文化に関する調査研究及び情報の提供

(1) 文化誌『藝文京』の発行

地域に根差した芸術文化を未来につなぐ視点で、寄稿や取材、対談、インタビューなどを掲載した文化誌を発行します。これを通して、「京都」という土地のもつ歴史や伝統、人、文化芸術について広く調査し、記録するとともに、当協会の活動やあゆみを紹介し、アーカイブ（保存記録）としての役割も担います。

(2) 協会ウェブサイトの運営

協会ウェブサイト運営し、事業や会員催事情報の告知、活動レポートや資料の公開など、芸術文化や協会に関する情報を発信するとともに、オンライン上のアーカイブ（保存記録）としての役割も担います。

2 各種芸術文化事業の実施及び奨励

(1) 第74回華道京展

華道発祥の地である京都において、華道界の連携を図り、市民文化の向上に寄与するいけばな展を、京都市、京都いけばな協会、(公社)京都市観光協会とともに大丸ミュージアムで開催します。(4月6日～11日)

(2) 市民狂言会【後掲】

3 芸術文化に関する教育及び普及

(1) 藝文京芸術教室

夏休み期間中の子ども向けに、多様な分野の文化芸術に関するレクチャー、ワークショップ、鑑賞会等を開催し、子どもたちが文化芸術に触れる機会を創出します。

開催日	事業名称	講師及び対象	会場
夏休み期間で調整予定 (7月下旬～8月上旬)	藝文京芸術教室 (分野及びテーマは今後調整)	講師：協会会員及び京都芸術センター事業で連携するアーティスト 対象：子ども(親子)を含む一般	京都芸術センター

(2) ピアノコンサートの開催【新規】

当協会会員の推薦等により、学生を含め若手の演奏家によるミニコンサートを開催します(無料、年4回程度)。

芸術センター内の講堂や大広間等でのイベントがない日時に、これまでは十分に活用できていなかったグランドピアノ及びスペースを活用し、気軽に音楽に触れる機会を創出するとともに、市民の方々等が芸術センターに来館する契機となり、また多様な方々が交流する場となることを目指します。

開催日	事業名称	出演者及び対象	会場
年4回程度 (予定)	ピアノコンサート	出演者：未定(協会会員の推薦等により若手の演奏家等を予定) 対象：一般	京都芸術センター

4 芸術家等の育成及び顕彰

(1) 京都いけばなプレゼンテーション2023

開催日	事業名称	内容・出演等	会場
6月3・4日	京都いけばなプレゼンテーション2023	「お稽古はじめ」・「6月6日はいけばなの日」をキーワードとし、「いけばな みいつけた」をテーマとするいけばな展及び子どもを対象とする体験の機会等を検討中。 協力：京都いけばな協会	京都芸術センター (Webでの公開を含む)

(2) 京都ビッグ・バンド・フェスティバル

開催日	事業名称	主催・出演等	会場
令和6年 2月4日	第48回 京都ビッグ・バンド・フェスティバル	主催：京都市、当協会 出演：京都府吹奏楽連盟所属団体	京都コンサートホール大ホール

(3) 芸術家等の顕彰

当協会に所属する会員を対象とし、京都市芸術文化協会賞として、近年の芸術文化活動が特に顕著な方や、芸術文化の向上に多大の功労があったと認められる方を、また、同新人賞として、新進で活発な芸術文化活動が認められる方や、今後の芸術文化活動においてさらにその活躍が期待される方を、それぞれ表彰します。

5 その他芸術文化の振興を達成するために必要な事業

(1) 藝文京サロン

文化芸術について語り合うと同時に、芸術文化分野だけでなく、学校、企業、行政など、あらゆる立場の方が交流し、芸術文化協会の文化芸術を軸としたネットワークハブとなることを目指して、令和4年度に始めた藝文京サロンを継続開催します。

(2) 「明倫ロケーション・ボックス（仮称）」【新規】

芸術センターの施設を撮影会等に有料で貸し出すなど、協会として新たな自主財源の確保に取り組みます。

なお、今年度は、令和6年度以降の実施に向けた準備・検討を行います。

(3) その他会員関連活動等

ア 総会・懇親会

令和5年7月6日に会員総会を開催予定（会場：京都ホテルオークラ）。

同日、会場にて協会賞・新人賞の表彰を行い、会員同士の交流を図る懇親会を開催します。

イ 協会の魅力発信（広報）

協会の事業や役割を紹介するとともに、芸術家による会員組織ならではの魅力を広く発信します。また、公益財団としての強みを生かした寄付獲得にも努めます。

Ⅱ 受託・共同主催事業

京都を新たな魅力に満ちた文化芸術都市として創生することを目指して制定された「京都文化芸術都市創生条例」及びその具体的な指針となる「第二期京都文化芸術都市創生計画（平成29年3月策定）」等に基づく事業を受託及び共同主催し、当協会の広範な芸術家のネットワークと文化事業の実績、ノウハウ等を活用して事業を実施します。

1 市民狂言会（共同主催）

伝統芸能である狂言を、楽しく気軽に鑑賞する機会を広く市民に提供するため、年4回、京都観世会館において京都市と共同で狂言会を開催します。（6月16日、8月18日、12月8日、3月8日）

なお、令和5年度は広報面を充実するとともに、年間を通じた高校生以下の料金を設定し、若年層にも来ていただけるよう努めます。

2 学校教育をはじめ、あらゆる機会を通じた文化芸術に触れる取組

（1）文化芸術授業（ようこそアーティスト）（受託）

京都市内の小・中・総合支援学校、幼稚園、保育園（所）を対象に、伝統芸能から現代美術まで、多様なジャンルのアーティストを講師として派遣し、特別授業を行います。（約60校で実施）

（2）伝統公演授業（ようこそ和の空間）（受託）

京都市内の中学生を対象に、和の文化を体感できる場所（能楽堂や歌舞練場等）において、伝統芸能を鑑賞する事業を実施します。（1日2公演）

3 伝統芸能文化創生プロジェクト（共同主催）

京都市と共同で実施している伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス（略称：TARO）では、伝統芸能文化に関係する個人や団体のネットワークの構築や基礎調査等のほか、伝統芸能文化を現代に適応した形で活性化することを目指す取り組みを行っています。

令和5年度は「伝統芸能文化復元・活性化プログラム」として、令和4年度以前から進行中のプログラム（8件。以下参照）を着実に進めながら、1件の新規採択を行うとともに、新たな取組として交流ネットワーク事業（シンポジウム等。詳細未定）を実施する予定です。

- ①若手へ向けた鯖江人形浄瑠璃の技能継承と他地域との交流
- ②社・東条を中心とした播州音頭踊りの継承と発信プロジェクト
- ③十津川盆踊りの伝承・保存・活用発信
- ④新素材による鉦すりの試作と生産業者の探索
- ⑤見島のカセドリ蓑藁製作技術の確保計画
- ⑥古物重厚意匠糊地能楽扇の写し製作
- ⑦笛譜・唱歌制作による石見神楽の継承円滑化事業
- ⑧三味線音楽のScratch教材開発：常磐津節を通じて日本の伝統芸能に親しむための教育プログラムづくりとその普及の試み

4 KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2023（共同主催）【後掲】

5 アーティスト・イン・レジデンス連携拠点事業（受託）

全国のアーティスト・イン・レジデンス（AIR）の拠点となるためのプラットフォームを構築し、国際文化交流をより一層加速させ、世界中からアーティストやAIRの情報が京都に集まる環境整備を進めます。

（1）情報集約・発信

これまでにネットワークを構築したAIR施設等の情報をまとめたデータベースを活用し、日本のAIR情報を一元的に世界に向けて発信するウェブプラットフォームを運営します。

（2）調査研究・AIRに関するアーカイビング

AIRプログラムの事例を調査し、紹介するほか、日本、世界でのAIRに関する議論を深めアーカイブ化します。

（3）ネットワーク構築

AIRに関する様々な相談に応じるための窓口機能を設置します。

6 京都市文化芸術総合相談窓口（KACCO）の運営（受託）

文化芸術関係者の活動に関する相談等に総合的に対応するため、令和3年度に京都芸術センター情報コーナー内に設置した総合相談窓口（KACCO）を継続して運営します。電話、メール、オンライン、対面等による相談受付、相談会の実施、士業相談、メンタルケア、その他講座やワークショップ等を企画し実施します。

7 京都市助成金等内定者資金融資制度融資窓口業務（受託）

8 アート×ビジネス推進事業（受託）

京都芸術センターの施設の一部を活用して、スタートアップ企業等のオフィスとして京都市が貸し出し、芸術センターに集う若手アーティストと入居企業等との交流をはじめ、広く芸術関係者と企業等との交流やマッチングの機会づくりを積極的に推進します。

9 その他

（1）京都市自治記念式典オープニングセレモニー

10月15日に開催される京都市自治記念式典のオープニングセレモニーにおいて、協会の持つネットワークをいかし、伝統文化によるパフォーマンスを実施します。

Ⅲ 芸術文化活動拠点施設運営事業

京都における芸術文化活動拠点施設である京都芸術センターの運営を通して、芸術活動の支援、芸術文化情報の発信、芸術を通じた芸術家と市民等との交流を行うことで、芸術家や芸術関係者が連携して、京都における芸術を総合的に振興することを目的とする事業です。

当協会では、京都芸術センターが開設された平成12年4月から、京都市からの業務委託を受けてセンターの運営を行っており、平成18年度からは、地方自治法の改正に伴い、指定管理者として管理運営を行っています。

令和5年度は、新たな指定期間（令和5年4月1日～令和9年3月31日）の一年目として、既存事業の再編により効果的・効率的な事業展開を図りつつ、施設の特性を活かした新たな事業の企画など、長年の運営実績を活かし、施設の設置目的を果たすための事業を継続します。

【活動センター機能】

1 制作支援事業

（1）制作支援事業（制作室使用者の公募）

京都芸術センターの基幹事業として、制作室の使用者を年2回（3月及び9月）公募し、審査のうえで1申請につき最長3ヶ月間、制作室を無償で提供します。また使用者は月例の使用者連絡会に出席し、明倫ワークショップ等を通じて市民との交流を図ります。

（2）Co-program2023（企画公募）

アーティストや芸術団体から京都芸術センターと協働して実現する企画を公募し、審査を経て採択された公演や展覧会、実験のプロセス等を総合的に支援します（制作室の提供、制作費の一部負担、発表場所の提供等）。

① カテゴリーA：「共同制作」（公演事業）4件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
9月	不自由な言葉を離す身体	松原俊太郎、スペースノット ブランク
11月	鬼丘鬼鏝（ゴースト・マウンテン・ゴースト・ショベル）個展「近代の輪郭」	山中suplex
12月	Deception of Air（空気きまぐれ）	谷中 佑輔
3月	新作公演（タイトル未定）	武本 拓也

② カテゴリーB：「共同開催」（展覧会事業）2件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
11月～12月	Ground Zero	Ground Zero project
1月～2月	「Conversion! - 転換」展	居原田遥

③ カテゴリーC：「共同実験」（リサーチ、レクチャー、ワークショップ等）2件

実施時期	事業名	アーティスト又は団体名
6月～12月	Bambino! 0才からのパフォーマンスアート #1	千代その子・米澤百奈
4月～11月	Cultural Canal Curriculum	吉野 正哲

(3) U35創造支援プログラム「KIPPU」（公募事業）

創作に専念できる京都芸術センターの制作室と、舞台設備の備わったロームシアター京都ノースホールの提供を通じて、舞台機構を活用し、作品規模の拡大等に挑戦する概ね35歳以下のアーティストを募集します。審査を踏まえ2団体を選出し、制作面でのアドバイスや批評の依頼も行います。

実施時期	採択アーティスト・団体	内容
12月	劇団不労社	演劇公演 「MUMBLE -モグモグ・モゴモゴ-」
2月	PANCETTA	演劇公演「PANCETTA LAB 2024 IN KYOTO」 (仮)

2 発表支援事業

(1) 美術作家の展示（展覧会事業）

① 若手美術作家のグループ展

開催時期	事業名	内容
5月～7月	ニューミュージーション #5 倉敷安耶・西村涼 「もののうつり」(仮)	関西圏の新進気鋭の芸術家を取り上げる展覧会。令和5年度は「転写」を用いて制作する作家を取り上げる。 出展作家：倉敷安耶・西村涼

② 中堅美術作家による個展

開催時期	事業名	内容
8月～9月	FOCUS #5 <small>むぎゅうだひょうご</small> 麥生田兵吾 「Artificial S カプセルの解体」(仮)	着実に制作・発表を続ける中堅アーティストに焦点を当て、個展形式で紹介するシリーズの5回目。出展作家は京都を拠点に写真を用いた表現を行う麥生田兵吾。見ることをめぐる根源的な問いを發するインスタレーション作品を展覧。

③ アーティストと企業等のコラボレーション展

開催時期	内容
3月	アーティストと他ジャンルとの領域の垣根を超えたコラボレーションの可能性を検討することを目的に、アーティストと企業・研究者がコラボレーションし制作した作品を展覧する。 出展作家：検討中

(2) KAC Performing Arts Program/Music (KACPAP) (公演事業)

京都に地縁の深いポップカルチャーやアンダーグラウンドシーンにおける「うた」の担い手に着目し、その音楽以外の芸術との関りや、アーティストの芸術的な多面性を紹介するコンサートと関連企画を実施します。

実施時期	アーティスト	内容
1月(予定)	Daichi Yamamoto	ラッパーであり、英大学でインタラクティブアートを学んだDaichiによる、メディアアート作家とコラボレートした新作インスタレーション及びソロパフォーマンス
2月(予定)	中村佳穂	「うた」における場所性と、聴き手とパフォーマーとの距離に着目した演出家等とのコラボレーションによるワークショップ及びコンサート

(3) KACパートナーシップ・プログラム2023 (企画公募・共催事業) [新規]

① 公演や展覧会の発表支援、②シンポジウムやレクチャー等、創造環境整備や情報交流、人材育成等に資する事業を対象に、公募を通じて京都芸術センターの施設を提供する活動を選定し、共催します。

令和5年度10件 (※旧Co-programカテゴリーD「KAC セレクション」)

実施時期	アーティスト又は団体名	事業名
通年	12の対話実行委員会 (TWD)	哲学とアートのための12の対話—「現代」を問う (室井尚×吉岡洋 連続講座)
5月	Art Collaboration Kyoto 実行委員会	アートシンポジウム2023 (仮)
5月	ARTCABINET	舞台芸術制作者のためのキャリアと働き方ワークショップ—地域の制作者が幸せに生きるため、ともに考える3日間—
6月	KUNIO	KUNIO 番外公演『古典を読む』〈古典クリエイトプロジェクトより〉 (仮)
8月	中川佳代子箏・三絃研究室	レクチャー&実演 三味線の音を聴く会～細棹・中棹・太棹～
8月	京都三曲協会	夏休み邦楽イベント 箏・三絃・尺八まるごと体験会 (仮)
9月	新内 志賀	語りの系譜

11月	谷口かな	谷口かなファーストソロリサイタル～Vibration～
1月	京都精華大学	公開講座と『ホルマリンの旅』パフォーマティブ上映+映像展示（仮題）
1月～2月	NPO法人ジャパン・コンテンツポラリーダンス・ネットワーク（JCDN）	Enjoy Dance!! 2023（仮題）—全国の若手振付家のための公演プラットフォーム—

3 伝統的芸術の継承・創造事業

（1）明倫茶会

学術、芸術、文化、産業等の様々な分野で活動している方を席主として、趣向を凝らした茶会を開催します。（3回開催）

（2）トラディショナル・シアター・トレーニング2023（T.T.T.）

国内外の芸術家・研究者等を対象に、一流の講師陣による直接的な指導のもと、日本の伝統芸能の基礎知識・技術等を習得するプログラムです。

開催時期	内容
6月～7月（予定）	令和5年度は狂言と日本舞踊の2コースを開講。各コース8名程度の参加者を募り、3週間の稽古を行ったのち、その成果を大江能楽堂にて発表する。プログラムディレクターはマット・ショアーズ（シドニー大学日本研究科准教授）。

4 先駆的・実験的事業

（1）KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2023（共同主催）

国内外の実験的な舞台芸術を創造・発信し、芸術表現と社会を、新しい形の対話でつなぐことを目指す国際舞台芸術祭です。9月30日から10月22日まで、国内・海外から先駆的な作品を紹介します。

（2）ニューイ・ブランシュ KYOTO 2023

アンスティチュ・フランセ関西と共同でニューイ・ブランシュ（白夜祭）を9月末に実施します。

5 芸術家・芸術関係者育成事業

（1）アートマネジメント講座

京都市立芸術大学の移転等を踏まえ、アートマネジメント専門人材の育成を図るため、包括的な連続講座を実施します。

【情報センター機能】

1 芸術文化情報の収集・発信事業（センター施設内）

（1）図書室の運営

京都芸術センター主催事業のアーカイブ及びそれに準じる芸術文化に関する資料の収集と保存を主な目的とし、センターならではの資料室としての役割を強化します。

来館者や制作室利用者にとっての資料の親しみやすさを考慮し、収蔵図書や資料を紹介するイベントを随時開催します。

（2）情報コーナーの運営

芸術文化に関するイベント情報等のポスター、チラシ等を収集し、年間約700種を掲出します。

2 芸術文化情報の収集・発信事業（オンライン）

（1）京都芸術センター・ウェブサイト

京都芸術センターの施設案内、イベント情報等を発信します。

（2）京都芸術センター・メールニュースの発行、SNS

京都芸術センターにおける各種事業を告知するメールマガジンを配信します（毎月配信）。また速報性のあるTwitterやFacebook、instagramといったSNSも効果的に活用し、発信力を高めます。

（3）京都文化芸術オフィシャルサイト（KYOTO ART BOX）

京都市の文化芸術全般の情報を集約したウェブサイトを経営します。平成27年度より京都芸術センター事業として実施し、京都文化芸術コア・ネットワークとの連携をはかり、プロジェクトやメンバー実施事業のレポート等を掲載しています。

（4）京都文化芸術コア・ネットワーク

京都を中心に文化芸術を支える専門的活動を行う者が、多種多様な情報を収集、編集、発信するため、情報交流のプラットフォームとしての京都文化芸術コア・ネットワークを運営します。メンバーが企画実施するプロジェクトのサポート等を行います。

【交流センター機能】

1 アーティスト・イン・レジデンス（AIR）事業

国内外の組織と連携し、多様なアーティストの京都でのリサーチや滞在制作を支援します。また京都を拠点とするアーティスト等の海外派遣も積極的に取り組み、国際文化交流・人的交流のハブとしての役割を果たします。

（１）公募プログラム【招聘】

滞在期間	参加者名	渡航先（ジャンル）	区分
４月～６月	Diorama Vivant Thetaer	韓国（演劇）	公募（パフォーミングアーツ部門）※2020年度から延期分
８月～10月	Emilia Álvarez	アルゼンチン（サウンド アート・パフォーマン ス）	公募（パフォーミングアーツ部門）

（２）海外文化機関等からの派遣アーティストの受入れ

滞在期間	参加者名	居住国（ジャンル）	区分
９月	未定	台湾（クロスジャンル）	エクステンジ：ADAM
10月～11月	未定（公募）	ノルウェー（全ジャンル）	エクステンジ：OCA
1月～３月	未定（公募）	ドイツ（工芸もしくは 平面）	エクステンジ：Quartier Am Hafen

（３）海外文化機関等へのアーティスト派遣

滞在期間	参加者名	渡航先（ジャンル）	区分
7月～8月	未定	台湾（クロスジャンル）	エクステンジ：ADAM
5月、8月	花形慎	台湾（クロスジャンル）	2022年度ADAMエクステンジからの発展による滞在制作

2 市民及び芸術家等との交流事業

（１）明倫ワークショップ

制作室使用者が市民との交流を図るため、ワークショップを無料で実施します。

（２）STUDIO OPEN DAY

明倫ワークショップを軸として、様々なイベントを集中的に開催します。京都芸術センターの制作支援事業の周知を図るとともに、活動するアーティストと市民の出会いの機会を創出します（年2回程度）。

（３）明倫レコード倶楽部

講師に作家のいしいしんじを迎え、レコード鑑賞を中心に、趣向を凝らした音楽鑑賞会を開催（年3回程度）。

3 教育普及事業

(1) 鑑賞支援プログラム

市民への芸術センターの認知度向上及び活動(作品)理解を図る講座等を開催します。

(4) (2) 地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」(通称名:ダン活)〔新規〕

(一財)地域創造が公共ホールスタッフの企画・制作能力の向上や創造性豊かな地域づくりを目的に実施している「公共ホール現代ダンス活性化事業」に参画します。地域創造のコンテンポラリーダンスの登録アーティスト及びコーディネーターと協力して、地域交流プログラムを企画・実施する3カ年事業に取り組みます。

開催時期	アーティスト	プログラム
8月	康本雅子(振付家・ダンサー)	① アウトリーチ ② 公募型ワークショップ

4 地域・学術・産業との連携事業

(1) 地域との連携事業

開催時期	事業名
未定	ペトロフ・ピアノコンサート (主催)明倫ペトロフの会、明倫自治連合会
11月(予定)	明倫フェスタ (主催)明倫自治連合会

(2) ボランティア制度

展示会の看視や公演の受付等、京都芸術センターの活動をさまざまなかたちで支えるボランティア制度を運営しています。ボランティア・スタッフは、事業のサポートのほか、ボランティア・スタッフによる有志の自主的活動である京都芸術倶楽部や古典芸能勉強会、茶の湯サロン「いっぷく」などを通じて芸術に関する知見を深めるとともに、ボランティア・スタッフ同士あるいはボランティア・スタッフと京都芸術センターを訪れるアーティスト等との交流を深めています。※登録者数:207名(令和5年3月1日現在)

(3) 友の会・協賛会

京都の若い芸術家たちの活動を知り、応援したいという方々からの支援をお願いしています。会員特典として、主催事業招待券を送付する他、メールニュース等の配信を行います。

- ・京都芸術センター友の会
(会費)個人会員10,000円、学生会員5,000円、団体・法人会員50,000円
- ・京都芸術センター協賛会
(協賛金)個人会員10,000円以上、団体・法人会員50,000円以上
*寄付金控除等、税制上の優遇措置の対象となります。

(4) 企業協賛

京都芸術センターの事業をより充実させることを目的に、企業等からの協賛金の獲得を目指します。また、資金提供のほか、アーティストが滞在するためのホテルや作品のための素材や技術等、宿泊場所や物品協賛の獲得も目指します。